

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR 四国特急・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR 四国特急・快速列車の編成表（2008年3月13日現在）

©作成・半沢一宣

！営利目的での無断転載を禁じます。学術研究など非営利目的で使用される場合でも、事前に作成者までご連絡ください。

\* 季節や時間帯によって、指定席の一部が自由席に（またはその逆に）変更になる列車があります。

\* 乗り込み調査データ欄の車両番号などは、原則として車いす対応座席付き車両のものを記しました。

参考資料 『鉄道ジャーナル』月刊、鉄道ジャーナル社

『JR 電車編成表 '05 冬号』ジェー・アール・アール

#### 記号の説明

指 = 指定席	自 = 自由席	グ = グリーン車
展 = 展望席	定 = 定員制	個 = 個室（セミコンパートメント等を含む）
H = 車いす対応座席	h = 車いすスペース	M = 多目的室
B = ベビーベッド付トイレ（車いす対応）	b = ベビーベッド付トイレ（車いす非対応）	
W = ベビーベッド無トイレ（車いす対応）	w = ベビーベッド無トイレ（車いす非対応）	
P = 公衆電話（車いす対応）	p = 公衆電話（車いす非対応）	
V = 飲料自動販売機（車いす対応）	v = 飲料自動販売機（車いす非対応）	
K = 売店	k = 車内販売準備室	C = 車掌室
S = 喫煙コーナー		s = 灰皿が設置されているデッキ

細字 = 受動喫煙が発生していない禁煙車

**ゴシック体** = 喫煙車

**斜字** = 喫煙コーナーがある禁煙車（下記注を参照）

**斜字** = 喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車（同上）

\*印 = 増結車（連結しない列車があります）

**黄色の網かけ** = 2008年3月15日のダイヤ改正で新たに「受動喫煙が発生していない禁煙車」となった車両

注：「喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車」について

2004年秋に、産業医科大学（福岡県北九州市）産業生態科学研究所の大和浩教授の研究班が、営業列車内の粉じん濃度に関する立ち入り調査を行いました。その結果、喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車では、隣接する喫煙車などからドア開閉時に、もしくは空調装置を経由して流入するたばこ煙によって、両側を禁煙車に挟まれた禁煙車両と比べて著しく高い、厚生労働省が定めた職場の環境評価基準をオーバーする高濃度の粉じんが検出されました。このことから、本表で「**ゴシック体**」「**斜字**」「**斜字**」のいずれかで表現した車両は、いずれも受動喫煙を防止できていない、公衆衛生上問題がある車両であると言えます。

！JR四国は、2008年3月15日のダイヤ改正ですべての特急列車を全席禁煙とし、デッキの灰皿も撤去しました。ただし、その後、運転時間が2時間を超える列車を中心に喫煙ルームを順次設置し続けているため、現在では受動喫煙が発生している車両が再び増加してきています。

\*各編成表の下の数字は、2008年3月30～31日の再調査時における、調査列車の各号車の車両番号です。

## もくじ

【瀬戸大橋線】	3
マリンライナー（5000系、快速列車）	3
瀬戸大橋アンパンマントロッコ （キハ185系+キクハ32形、季節運転の快速列車）	3
【予讃線方面＝松山発着列車】	4
しおかぜ+いしづち、ミッドナイトEXP松山（8000系）	4
宇和海（2000系、アンパンマン列車）	4
しおかぜ+いしづち、宇和海（2000系、アンパンマン列車）	5
いしづち1・34号、宇和海（2000系、アンパンマン列車以外）	6
いしづち4号、ミッドナイトEXP高松（N2000系）	6
【土讃線方面＝高知発着列車】	7
南風（2000系、アンパンマン列車）	7
南風、しまんと、あしずり（2000系、アンパンマン列車以外）	8
南風、しまんと（N2000系）	9
【高德線、徳島線、牟岐線方面＝徳島発着列車】	9
うずしお（N2000系、一部2000系）	9
うずしお、剣山、むろと、ホームエクスプレス阿南（キハ185系）	10

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR 四国特急・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

【瀬戸大橋線】

マリンライナー（5000系、快速列車）

- \* ~ 号車はJR西日本保有の223系5000代車両です。
- \* ~ 号車または ~ 号車の3両編成で運転される列車があります。
- \* 号車の19A席（瀬戸大橋上で東側）と19D席（同じく西側）が車いす対応座席です（肘掛け跳ね上げ式）
- \* 号車では中間乗務員室を車掌室代用としています。

乗り込み調査実施記録

2007年3月27日（火曜日）岡山17時44分発「マリンライナー51号」  
車両番号・号車 = 5104（M4編成、2003年・東急車輛製）

再調査実施記録

2008年3月31日（月曜日）高松10時09分発「マリンライナー22号」  
車両番号・号車 = 5105（M5編成、2003年・東急車輛製）

			高松				岡山
							*
グ 展	グ 指	指 HW	自	自C	自hW	自	自hW
			5105	5205	5005		

瀬戸大橋アンパンマントロッコ（キハ185系+キクハ32形、季節運転の快速列車）

- \* 学校休み期間を中心に運転されます。
- 学校休み期間以外には、四国島内各線で単発的に臨時運転されることもあります。
- \* 号車の運転席背後（瀬戸大橋上で東側）に車いすスペースがあります。
- 号車には車いすスペースはありません。
- \* 号車の売店の向かいにはベビーカー置き場があります。

乗り込み調査実施記録

2008年3月31日（月曜日）  
高松9時05分発「瀬戸大橋アンパンマントロッコ2号」  
車両番号・号車 = キクハ32 - 502（2003年・新潟トランス製）

再調査実施記録

2008年8月7日（木曜日）  
岡山15時15分発「瀬戸大橋アンパンマントロッコ3号」  
車両番号・号車 = キクハ32 - 502

高松		岡山	
h指トロッコ	wK指		
キハ32-502		キハ185-26	

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR 四国特急・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

【予讃線方面 = 松山発着列車】

しおかぜ+いしづち、ミッドナイトEXP松山（8000系）

\* 号車の2両編成、 ~ 号車の3両編成、または ~ 号車の5両編成で運転される列車があります。

また、8両すべてが高松発着の「いしづち」となる列車があります。

\* 号車の1・2番A B C D席は女性専用席です。

\* 多客期には8両全車が岡山発着の「しおかぜ」として運転されます。この場合、多度津 ~ 高松間に臨時の「いしづち」が運転されますが、使用される車両は決まっています。

また、号車の女性専用席の設定はありません。

\* 号車の1D席が車いす対応座席です（予讃線内で瀬戸内海側、肘掛け跳ね上げ式）。多目的室も瀬戸内海側です。

\* 号車の喫煙ルームは現在順次設置工事实施中です。

乗り込み調査実施記録

2007年3月29日（木曜日）高松6時03分発「いしづち3号」（8両編成）

車両番号・号車 = 8403（S5 + L3編成、1993年・日本車両製）

再調査実施記録

2008年3月30日（日曜日）

松山9時16分発「しおかぜ12号+いしづち12号」（8両編成）

車両番号・号車 = 8403（S6 + L3編成、1993年・日立製）

松山

高松・岡山

	*							
展指vw	S自	w自	自HMW	S自	指w	指	wv指	グ展

8506

8311

8206

8403

8303

8153

8103

8003

-松山 ~ 高松「いしづち」-

-松山 ~ 岡山「しおかぜ」-

宇和海（2000系、アンパンマン列車）

\* 7・17・23・4・18・24号は、次ページの「しおかぜ+いしづち」用 ~ 号車の4両編成で運転されます。

宇和島

松山

展グ	指vw	自	自	wS自

\* 25号は、次ページの「しおかぜ+いしづち」用の号車を号車の順につなぎ替えた3両編成で運転されます（号車の運転台が岡山・高松方に向いている関係）。

宇和島

松山

指自w	w自	w自

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR 四国特急・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

【予讃線方面の続き】

しおかぜ+いしづち、宇和海（2000系、アンパンマン列車）

\* 多客期には8両全車が岡山発着の「しおかぜ」として運転されます（号車は多客期にのみ増結）。この場合、多度津～高松間に臨時の「いしづち」が運転されますが、使用される車両は決まっています。

乗り込み調査実施記録

～号車 2007年3月25日（日曜日）岡山11時22分発「しおかぜ9号」  
車両番号・号車 = 2004（製造年・メーカー名は失念）

号車 2007年3月29日（木曜日）高松11時39分発「いしづち13号」  
車両番号・号車 = 2152（製造年・メーカー名は失念）

再調査実施記録

2008年3月30日（日曜日）

宇和島6時40分発「しおかぜ10号+いしづち10号」（松山駅停車中に調査）

車両番号・号車 = 2005（製造年・メーカー名は失念）

・下表のうち上は再調査日の「しおかぜ10号+いしづち10号」の編成、下は同日の「しおかぜ21号+いしづち25号」の編成。

表の下の数字は車両番号、斜字は非アンパンマン車両を示します。

宇和島・松山

高松・岡山

展グ	指vw	指	自	w自	w指	*	指自w	w自
	2005	2210	2208	2109	2113		2152	2110
-宇和島～岡山「しおかぜ」-					松山～高松「いしづち」			

展グ	指vw	指	自	自	w指	w自	指自w	w自
	2004	2209	2204	2216	2107	2113	2152	2110
-宇和島～岡山「しおかぜ」-					松山～高松「いしづち」			

2008年8月7日（金曜日）岡山17時34分発「しおかぜ21号」の編成

（号車に喫煙ルーム設置済み）

展グ	指vw	指	自	w自	w指	*	指自w	w自
	2005	2204	2208	2109	2110			
-宇和島～岡山「しおかぜ」-					松山～高松「いしづち」			

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR 四国特急・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

【予讃線方面の続き】

いしづち1・34号、宇和海（2000系、アンパンマン列車以外）

乗り込み調査実施記録

4両編成 2007年3月29日（木曜日）高松5時17分発「いしづち1号」

車両番号・号車 = 2157（製造年・メーカー名は失念）

3両編成 2008年1月19日（日曜日）松山9時00分発「宇和海3号」

車両番号・号車 = 2001（1989年・富士重工製）

再調査実施記録

いずれも2008年3月30日（日曜日）に実施、上記の初回調査時と同じ車両。

4両編成 高松5時17分発「いしづち1号」（松山駅停車中に調査）

3両編成 松山9時00分発「宇和海3号」

宇和島・松山（いしづち）			高松
宇和島	（宇和海）		松山
指w	自	自	w自
2157	2211	2207	2111

（下り いしづち1号、宇和海1・5・11・13・15・19号）

（上り いしづち34号、宇和海6・8・12・16・20・22・26号）

	*	
展指自w	自C	w自
2001	2201	2101

（宇和海3・9・21・27・2・10・14・28号、TSE編成）

いしづち4号、ミッドナイトEXP高松（N2000系）

\* 号車は土讃線「しまんと」用の2000系と、 ~ 号車は高徳線「うずしお」用のN2000系と、それぞれ同じ車両です。

乗り込み調査実施記録

2008年3月31日（月曜日）伊予西条6時44分発「いしづち4号」

（高松駅到着時に調査、 号車は折り返し「しまんと5号」に充当）

伊予西条		高松		
自Sw	w自	* 自Sw	* 自	* BH自
2154	2121	2463	2523	2424

【土讃線方面 = 高知発着列車】

南風（2000系、アンパンマン列車）

\* 宿毛・中村～窪川間は、土佐くろしお鉄道の宿毛線～中村線に乗り入れ。

\* 4両編成の列車は、宇多津～岡山間で「うずしお」を併結します。

また3両編成の列車には、高知～宇多津間で「しまんと」を併結するものがあります。

\* 4両編成の号車（2006年6月30日から）と3両編成の号車（同年8月1日から）にある喫煙室は、全席禁煙化に伴い新設されたものです。この喫煙室は定員1名と狭いため、デッキでの違反喫煙ひいては隣接車両での受動喫煙を誘発しています（喫煙室前のデッキの床には、デッキでの喫煙が常態化していることを示す、ここでたばこを踏み消した際にできたとしか考えられない焼け焦げ跡が、多数認められます）。このため、号車または号車では受動喫煙が発生していると考えられます。

\* 多客期には、アンパンマン塗装でない一般車を号車として増結した、4両または5両編成で運転されます（通常は号車となる車両を号車として連結）。

乗り込み調査実施記録

2007年3月28日（水曜日）岡山18時52分発「南風23号」（4両編成）

車両番号・号車 = 2030（製造年・メーカー名は失念）

再調査実施記録

いずれも2008年3月30日（日曜日）に実施

3両編成（アンパンマン列車1号・ブルー）

岡山20時05分発「南風25号」（宇多津駅停車中に調査）

車両番号・号車 = 2007（製造年・メーカー名は失念）

4両編成（アンパンマン列車2号・ピンク、土佐くろしお鉄道保有車両）

岡山19時05分発「南風23号」（宇多津駅停車中に調査）

車両番号・号車 = 2030（製造年・メーカー名は失念）

宿毛・高知 岡山

展グ	指vw	指自	wS自
----	-----	----	-----

2007      2212      2104

（2・3・24・25号）

展グ	指vw	指	自	wS自
----	-----	---	---	-----

2030      2230      2231      2130

（6・7・22・23号）

【土讃線方面の続き】

南風、しまんと、あしずり（2000系、アンパンマン列車以外）

\* グリーン席連結3両編成の設備配置は「南風（アンパンマン列車1号・ブルー編成）」と同じです。

\* 2両編成は、予讃線「宇和海」の4両編成（グリーン車を連結しない編成）から 号車を抜いたものと同じです。

\* 3両編成は、2両編成の 号車と同じタイプの車両を 号車として増結したものです。（2両編成列車が曜日によって3両に増結される場合も同様）

\* 号車の喫煙ルームは、2008年3月15日からの特急列車全席禁煙化に関連して、2007年から順次設置されたものです。この喫煙ルームは定員1名と狭いため、喫煙ルーム前のデッキでの違反喫煙を誘発しています（この部分の床には、ここでたばこを踏み消したときにできたとしか考えられない焼け焦げ跡が、多数存在しています）。このため、号車では受動喫煙が発生していると考えられます。

乗り込み調査実施記録

3両編成 = 2007年3月29日（木曜日）高松6時06分発「しまんと1号」  
車両番号・号車 = 2009（製造年・メーカー名は失念）

2両編成 = 2007年3月29日（木曜日）高松9時10分発「しまんと5号」  
車両番号・号車 = 2153（製造年・メーカー名は失念）

再調査実施記録

グリーン席連結3両編成 = 2008年3月30日（日曜日）  
中村13時26分発「南風20号」（宇多津駅停車中に調査）  
車両番号・号車 = 2011（製造年・メーカー名は失念）

グリーン席なし3両編成 = 2008年3月31日（月曜日）  
高松7時19分発「しまんと3号」  
車両番号・号車 = 2153（製造年・メーカー名は失念）

2両編成の調査記録は予讃線「いしづち4号」の欄を参照。

宿毛・中村・高知（南風） 岡山  
宿毛・中村・高知（しまんと） 高松

展グ	指vw	指自
		wS自
	2011	2203
		2116

（下り 南風1・5・11・13・17・19・21号、しまんと1号）

（上り 南風4・10・12・16・18・20・28号、しまんと10号）

指自w	w自
2154	2121

（下り 南風27号、しまんと5・7号、あしずり）

（上り 南風26号、しまんと2・8号）

指w	w自	BH自
2153	2122	2123

（下り 南風9・15号、しまんと3号）

（上り 南風8・14号、しまんと6号）



【土讃線方面の続き】

南風、しまんと（N2000系）

\* 高徳線「うずしお」のN2000系3両編成と同じ編成です。

\* 高知～宇多津間で「南風」と併結する「しまんと」では、号車番号が異なります。

高知（南風）岡山  
高知（しまんと）高松

指Sw	自	BH自

（下り 南風9・15号、しまんと3・9号）

（上り 南風8・14号、しまんと4・6号）

【高徳線、徳島線、牟岐線方面＝徳島発着列車】

うずしお（N2000系、一部2000系）

\* 3・4号は、下表の3両編成と2両編成をつないだ5両編成で運転されます。

\* 岡山発着の6・9・22・25号は、宇多津～高松間では逆向きです。また宇多津～岡山間で「南風」と併結する関係で～号車として運転されます。

\* 3両編成では号車の1A席が車いす対応座席です（高徳線内で山側、瀬戸大橋上で西側。肘掛け跳ね上げ式）

また、2両編成列車の号車にも車いす対応設備付き車両が連結される場合があります。

乗り込み調査実施記録

2007年3月29日（木曜日）高松8時20分発「うずしお3号」（5両編成）

車両番号・号車＝2425（1998年・富士重工製）

号車＝2424（製造年・メーカー名は失念）

再調査実施記録

2008年3月31日（月曜日）高松8時22分発「うずしお3号」

（5両編成、下表の2両編成を号車として連結）

車両番号・号車＝2427（1998年・富士重工製）

徳島・宇多津 高松・岡山

指Sw	自	BH自

2460 2520 2429

（下り 1・3・7・9・13・15・19・21・23・25・31号）

（上り 2・4・6・10・14・16・20・22・26・28・30号）

指自Sw	自

2462 2119

（下り 3・11・17・29号）

（上り 4・12・18・24号）

（3・4号では号車として運転）

【高德線、徳島線、牟岐線方面の続き】

うずしお、剣山、むろと、ホームエクスプレス阿南（キハ185系）

\* 号車は「ゆうゆうアンパンマンカー」で、週末や学校休み期間を中心に連結されます。

\* 3両編成は4両編成から号車(ゆうゆうアンパンマンカー)を抜いたものと同じです。

また2両編成は、3両編成列車から更に号車を抜いたものと同じです。

乗り込み調査実施記録

2007年3月29日（木曜日）高松9時47分発「うずしお5号」

車両番号・号車=キハ186-2（1986年・日本車両製。ゆうゆうアンパンマンカーへの改造年・施工箇所名は失念）

再調査実施記録

2008年3月31日（月曜日）高松10時09分発「うずしお5号」

車両番号・号車=キハ186-2（初回調査時と同じ車両）

徳島	（うずしお）	高松
海部・徳島	（剣山）	阿波池田
海部	（むろと）	徳島
阿南（ホームエクスプレス阿南）		徳島

	*		*
指自w	指 子供室MC	w自	自

キハ185-21    キハ186-2    キハ185-13    キハ185-1017

（うずしお5・32号、剣山5・7・8・10号）

（号車は「うずしお32号」では回送扱い、号車は多客期の「うずしお5号」のみ連結）

		*
指自w	自	自

（うずしお8号、剣山2・11・12・13号）

指自w	自

（うずしお27号、上記以外の「剣山」「むろと」「ホームエクスプレス阿南」全列車）

以上